

第27回日本水環境学会シンポジウム 参加申し込み案内

第27回日本水環境学会シンポジウムは、下記の要領により、岩手大学上田キャンパスで開催いたします。
各研究委員会のセッションのほか、特別講演、メタウォーター賞受賞者講演、大学院博士後期課程の研究奨励を目的とした若手研究紹介（オルガノ）セッション、懇親会、テクニカルツアーなど、多彩な企画が用意されています。
非会員の方の参加も可能です。多数の皆様のご参加をお願い申し上げます。

1. 概要

期 日：2024年9月11日（水）～13日（金）（13日（金）はテクニカルツアー）
会 場：岩手大学上田キャンパス（対面形式で開催）
後 援：岩手大学
講演集形式：ダウンロード版および冊子版として提供します。冊子版不要の場合は参加費が減額されます。

2. 内容

若手研究紹介（オルガノ）セッション（発表審査） 9月11日（水） 9:00～12:30
年間優秀論文賞（メタウォーター賞）受賞者講演 9月11日（水） 17:10～17:50
特別講演「東北の水環境」（参加登録不要（無料）） 9月12日（木） 9:30～12:30
第1席 東日本大震災後の沿岸・河口域における水辺環境、生物多様性とNbS 岩手医科大学 松政 正俊 氏
第2席 東京電力福島第1原子力発電所処理水放出に伴う環境モニタリングデータの評価 日本原子力研究開発機構 眞田 幸尚 氏
第3席 下水情報活用の社会的受容性 東北大学 佐野 大輔 氏
第4席 我が国の鉱害防止対策と北上川清流化の取組 JOGMEC 松尾管理事務所 平井 浩二 氏
表彰式・懇親会（会場岩手大学生協 理工学部食堂） 9月11日（水） 18:15～19:45
テクニカルツアー「旧松尾鉱山新中和処理施設等」 9月13日（金） 8:45～13:00（盛岡駅発着）

研究委員会セッション

11日（水）午前（9:00～12:30）

環境汚染物質の微量分析・リスク把握 (MS技術研究委員会)
安全安心な水循環と膜～緊急時に活躍する水処理技術～ (膜を利用した水処理技術研究委員会)
汽水域と災害・自然保全～能登半島地震から学ぶこと (汽水域研究委員会)

11日（水）午後（13:30～17:00）

地球上での多彩な環境下で活躍する嫌気性微生物：その生態と応用 (嫌気性微生物処理研究委員会)
環境にやさしい高分子材料を目指して：バイオアッセイ等による評価 (バイオアッセイによる安全性評価研究委員会)
改めて感染リスクを考える (水中の健康関連微生物研究委員会)
流域におけるマイクロプラスチックの動態 (流域物質動態とノンポイントソース研究委員会／マイクロプラスチック研究委員会)
紫外線を用いた水処理技術の最前線 (紫外線を利用した水処理技術研究委員会)
環境エンジニアリングにおける電気化学的技術 (電気化学的技術研究委員会)
地域からの発信～水環境研究の社会実装に向けて～ (地域水環境行政研究委員会／共催：全国環境研協議会)

12日（木）午後（13:30～17:00）

環境再生保全のための高度処理浄化に資する新たな研究開発・解析評価の動向 (生物膜法研究委員会)
プラスチック問題の身近に潜む危険、対策の啓発 (身近な生活環境研究委員会)
SDGs時代における企業の環境バイオ研究開発 (微生物生態と水環境工学研究委員会)
湿地・沿岸域研究の最前線と三陸沿岸域のいま (湿地・沿岸域研究委員会)
産業排水の処理・回収における脱炭素に向けた技術動向 (産業排水の処理・回収技術研究委員会)
亜熱帯島しょ域における環境汚染物質の実態・課題及び対応 (熱帯・亜熱帯地域水環境研究委員会)
東北地方における水・バイオマス利用の技術とシステム (農産業に関わる水・バイオマス循環技術研究委員会)

3. 参加申し込み案内

事前の参加登録（申し込みと入金）にご協力ください。当日の申し込みは可能ですが参加費が高くなります。研究発表を申し込まれた方も、必ず参加登録が必要です。

特別講演「東北の水環境」は参加登録不要（無料）です。テクニカルツアーは別途申し込みが必要です。
 なお、キャンセルポリシーについては https://www.jswe.or.jp/pdf/JSWE_cancellation_policy.pdf をご覧ください。

(1) シンポジウム参加費および懇親会参加費

	冊子版なし		冊子版有		懇親会参加費*	
	事前登録	当日申込	事前登録	当日申込	事前登録	当日申込
正 会 員（不課税）	4,500 円	7,000 円	5,500 円	8,000 円	4,000 円	5,000 円
学生会員（不課税）	2,000 円	4,000 円	3,000 円	5,000 円		
非 会 員 一般	17,500 円	20,000 円	18,500 円	21,000 円		
（課税，税込み） 学生	7,000 円	9,000 円	8,000 円	10,000 円		

*：参加者に同伴して懇親会に参加する家族（小学生以下）は無料

(2) 申込方法と期限

ホームページ <https://www.jswe.or.jp/event/symposium/> からお申し込みください。申込期限は8月22日（木）です。また、参加費は8月30日（金）までに指定口座に振り込んでください。ご入金が確認できない場合は、予約申込みがキャンセルとなり、別途当日参加申込を行っていただくことになりますのでご注意ください。なお、お振込後、入金が確認できるまで銀行振込で1～3日、郵便振替（ゆうちょ銀行への振込を含む）で2～8日かかることがありますので、余裕をもってご送金ください。

WEBからの申し込みができない方は、下記の連絡・問い合わせ先にご連絡ください。

(3) 振込先

振込人名義に申込番号も記載してください。名義が異なる場合や申込番号が記載できない場合は、必ず別途ご連絡をお願いします。

振込先銀行：三菱 UFJ 銀行市ヶ谷支店 普通預金 口座番号：4948527 名義：シャ)ニホンミズカンキョウガッカイ	郵便振替※：00180-5-564127 加入者名：(公社) 日本水環境学会 ※通信欄に申込番号を記載してください。
---	--

(4) 参加証／講演集引換券の送付

ご入金を確認後メールにてお知らせします。領収書は振替・振込の受領証等をもって代えさせていただきます。別途、学会名の領収書が必要な場合は、現地受付の相談窓口にお申し出ください（対応可能時間：1日目11時～2日目17時）。

事前に学会名での領収書をご希望の場合は、下記の連絡・問合せ先までご連絡ください。

(5) 現地受付用の QR コード

期限内に参加登録・入金がお済みの参加者には、現地受付用の QR コードを事前にお送りします。

(6) テクニカルツアー

1972年に閉山した硫黄鉱山である旧松尾鉱山跡から現在も流出する強酸性水を処理し、北上川の清流を守る施設である旧松尾鉱山新中和処理施設等の見学を予定しています。第27回日本水環境学会シンポジウムの参加者が対象です。

日 時 9月13日（金）8：45～13：00（盛岡駅発着）

参 加 費 2,500 円（交通費・保険料を含む、シンポジウム受付で現金にて収受）

定 員 30 名（先着順）

申込み先 E-mail：excursion@jswe.or.jp（@は半角）

申込方法 8月27日（火）までに氏名、所属、連絡先（住所、電話およびE-mail）を明記し、件名に「日本水環境学会テクニカルツアー」と記載してE-mailでお申し込みください。

4. 託児施設

学内に託児施設を開設する予定です。8月27日（火）までにお申し込みください。締め切り日以降のお申し込みには対応できませんのでご了承ください。ご利用を検討される方は、takuji@jswe.or.jp までご連絡ください。

5. 宿泊施設等について

宿泊施設の案内・斡旋等はいりませんので、各自で手配してください。

6. 連絡・問合せ先

公益社団法人 日本水環境学会 シンポジウム係

東京都江東区常盤 2-9-7 グリーンプラザ深川常盤 201 号

Tel：03-3632-5351 Fax：03-3632-5352 E-mail：nenkai@jswe.or.jp

タイムテーブル
第 27 回日本水環境学会シンポジウム (2024 年 9 月 11-12 日) @岩手大学上田キャンパス

		学生センター C 棟 1 階	学生センター C 棟 2 階	学生センター A 棟 1 階 G1	学生センター A 棟 2 階 G2	学生センター A 棟 2 階 G28	学生センター A 棟 2 階 G29	学生センター A 棟 2 階 G22	学生センター A 棟 2 階 G23
		A 会場 口頭発表会場	B 会場 口頭発表会場	C 会場 口頭発表会場	D 会場 口頭発表会場	E 会場 口頭発表会場	F 会場 口頭発表会場	G 会場 口頭発表会場	H 会場 ポスター会場
11 日	09:00～12:30	博士研究奨励賞 (オルガノフロン セーション)	安全安心な水循環 と膜～緊急時の活躍 する水処理技術～ (膜を利用した水処 理技術研究委員会)			汽水域と災害・自 然保全～能登半島 地震から学ぶこと (汽水域研究委員会)		環境汚染物質の微量分析・リスク把握 (MS 技術研究委員会)	
	昼休み 12:30～13:30								
	13:30～17:00	流域におけるマイ クロプラスチック の動態 (流域物質動態と ノンポイントソー ス研究委員会/マ イクロプラスチック 研究委員会)	地域からの発信～ 水環境研究の社会 実装に向けて～ (地域水環境行政 研究委員会/共催 : 全国環境協議 会)	紫外線を用いた水 処理技術の最前線 (紫外線を利用し た水処理技術研 究委員会)	地球上での多彩な 環境下で活躍する 嫌気性微生物: そ の生態と応用 (嫌気性微生物処 理研究委員会)	環境にやさしい高 分子材料を目指し て: バイオアッセ イ等による評価 (バイオアッセイ による安全性評価 研究委員会)	環境エンジニアリ ングにおける電気 化学的技術 (電気化学的技術 研究委員会)	改めて感染リスクを考える (水中の健康関連微生物研究委員会)	
	17:10～17:50	年間優秀論文賞 (メタウォーター賞) 受賞者講演							
12 日	18:15～19:45	表彰式 (年間優秀論文賞, 博士研究奨励賞)・懇親会 (於: 岩手大学生協 理工学部食堂)							
	09:00～12:30	9:30～ 特別講演							
	昼休み 12:30～13:30								
	13:30～17:00	産業排水の処理・ 回収における脱炭素 に向けた技術動向 (産業排水の処理・ 回収技術研究委 員会)	東北地方における 水・バイオマス利用 の技術とシステム (農業に関わる 水・バイオマス循環 技術研究委員会)	環境再生保全のた めの高度処理浄化 に資する新たな研 究開発・解析評価 の動向 (生物膜法研究委 員会)	亜熱帯島しょ域に おける環境汚染物 質の実態・課題及 び対応 (熱帯・亜熱帯地域 水環境研究委員会)	プラスチック問題の 身近に潜む危険、 対策の啓発 (身近な生活環境研 究委員会)	湿地・沿岸域研究 の最前線と三陸沿 岸域のいま (湿地・沿岸域研 究委員会)	SDGs 時代における企業の環境バイオ 研究開発 (微生物生態と水環境工学研究委員会)	

岩手大学上田キャンパス

〒020-8550 岩手県盛岡市上田三丁目 18 番 8 号 <https://www.iwate-u.ac.jp/access.html>

【新幹線】

東京駅 → 〈東北新幹線はやぶさ〉(約 2 時間 10 分) → 盛岡駅

【飛行機】

伊丹(大阪), 新千歳(札幌), 名古屋(小牧), 神戸, 福岡 → いわて花巻空港

いわて花巻空港 → 高速バス(約 50 分) → 盛岡駅

【盛岡駅から岩手大学まで】

バス路線: 盛岡駅前東口バスターミナル「11 番」岩手県交通バス「駅上田線 松園バスターミナル行き」

または「駅桜台団地線 桜台団地行き」→ (約 10 分) → 「岩手大学前」下車徒歩 1 分

タクシー: 盛岡駅から約 2km/約 10 分

徒歩: 盛岡駅から約 2km/約 25 分

【注意事項】

学内は全面禁煙です

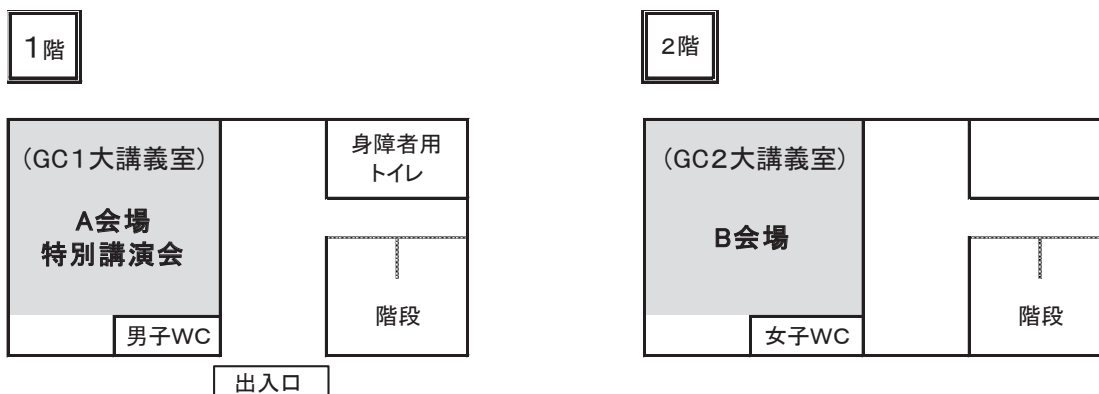
自家用車・バイクでの来場は禁止です



(行きと帰りでバスの運行ルートが異なり、帰り(盛岡駅方面行)の路線バスはバス停の名称も異なります。ご注意ください。)

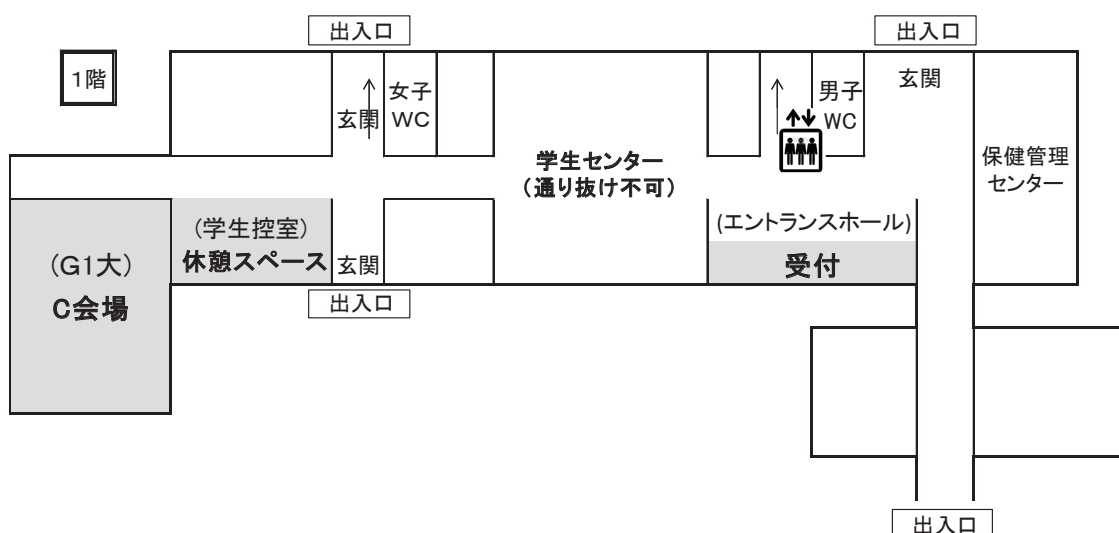
フロア案内

学生センターC棟（特別講演会場，A会場，B会場）

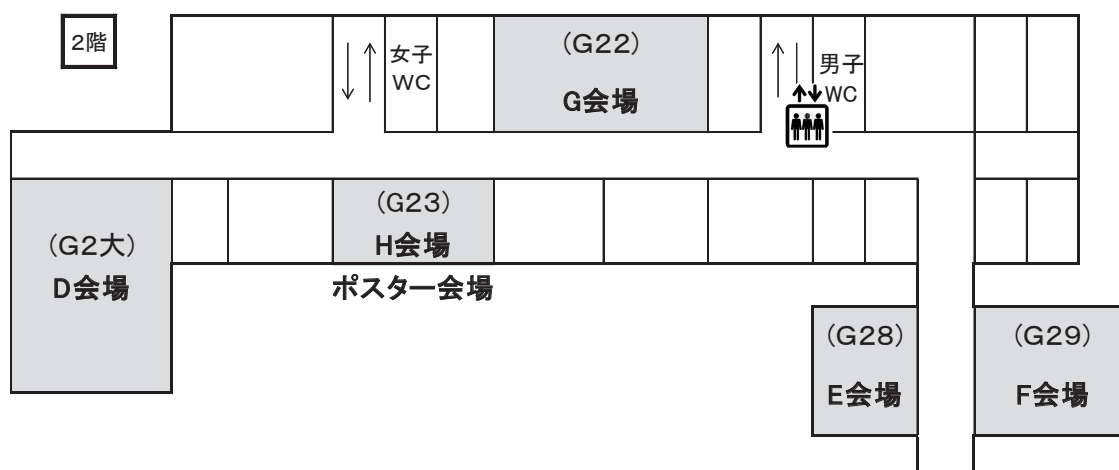


学生センターA棟

1階（受付，C会場，休憩スペース）



2階（D会場，E会場，F会場，G会場，H会場）



発表プログラム

9月11日(水) 午前

B会場 09:00～12:30

安全安心な水循環と膜～緊急時に活躍する水処理技術～(膜を利用した水処理技術研究委員会)

(座長: 藪野洋平(クラレ))

- 09:00～09:05 趣旨説明……………山村 寛(中央大)
 09:05～09:20 膜を用いた微細藻類の高濃縮技術……………西阪健一, 井上洋司(ダイセン・メンブレン・システムズ)
 09:20～09:35 有機フッ素樹脂製ろ過膜の安全性と規制対応……………井田清志(住友電工)
 09:35～09:50 超純水精製における限外ろ過膜の利用……………石井直恵(メルク)

(座長: 大熊那夫(造水促進セ))

- 09:50～10:25 【特別講演/膜ろ過アーカイブ】世界の海水淡水化に貢献する日本の膜技術……………栗原 優(東レ)

(座長: 長岡 裕(東京都市大))

10:35～12:30 【パネルディスカッション ～緊急時に活躍する水処理技術～】

令和6年能登半島地震における上水道施設の被害状況と応急復旧対応……………本荘谷勇一(日本水道協会)
 令和6年能登半島地震における可搬式浄水装置による給水支援活動……………中原忠義(水資源機構)
 非常災害用膜ろ過装置を用いた災害支援について……………嶋村 瞳, 北村彰浩, 橋本暢之(水道機工)
 災害支援現場における小規模分散型水循環システムの活用……………西尾 学(WOTA)
 災害時に応急復旧対応可能な汚水処理技術の開発
 ……………松橋 学(国総研・下水), 遠山 明(エステム), 松本智樹(帝人フロンティア),
 名雪克佳(積水アクアシステム), 齊藤 浩(新技術コンサルタント),
 青木 護(田原市), 石井淑大, 重村浩之(国総研・下水)
 洗浄水再生システム(e6s)の開発 ……中野和典, 伊藤 醇(日本大・工), 高波佳祐, 高波正充(e6s)

9月11日(水) 午前

E会場 09:00～12:30

汽水域と災害・自然保全～能登半島地震から学ぶこと(汽水域研究委員会)

(座長: 清家 泰(島根大))

- 09:00～09:05 趣旨説明……………清家 泰(島根大)
 09:05～09:50 招待講演 能登半島地震の河北潟への影響～特に堤防を伴う湖岸とその植生について
 ……高橋 久(河北潟湖沼研究所), 永坂正夫(金沢星稜大), 川原奈苗, 福原晴夫(河北潟湖沼研究所)
 09:50～10:15 河北潟シミュレーションモデルの構築……………井上徹教(港空研)

(座長: 井上徹教(航空研))

- 10:20～10:45 阿蘇海における水質の空間分布特性と変動要因の分析……………柘植幹哉, 佐藤圭輔, 樫田健生(立命館大)
 10:45～11:10 TP・PPは流量に比例するのでLQ式は2次式が妥当
 ……………神谷 宏(島根大), 井上徹教(港空研), 清家 泰(島根大)
 11:10～11:35 低空航空写真を用いた干潟底質分類について……………伊豫岡宏樹(九州産大), 藤永拓矢(大阪市大)
 11:35～11:55 海跡湖周辺地域における地震時のリスク～宍道湖・霞ヶ浦を例に……………山室真澄(東京大・新領域)

(座長: 山室真澄(東京大・新領域))

12:00～12:30 総合討論

9月11日(水) 午前

G会場 09:00～12:30(ポスター発表はH会場)

環境汚染物質の微量分析・リスク把握(MS技術研究委員会)

(座長: 西野貴裕(東京都・環科研))

- 09:00～09:15 質量分析は海洋生分解性プラスチックの分解を捉えられるか?
 ……………八十島誠, 苗田千尋, 藤田 遼, 峯 孝樹, 嶽盛公昭(島津テクノ)
 09:15～09:30 高極性物質を対象としたAIQS-LCにおけるHILICカラムの選定
 ……市原真紀子(大阪市・環科研セ), 宮脇 崇, 門上希和夫(北九州市大), 大方正倫(滋賀県大),
 伊藤朋子(岩手県・環研セ), 米山美幸, 中島大介(国環研)
 09:30～09:45 AIQS-LC用装置性能評価に関する研究
 ……………後藤 匠, 宮脇 崇, 門上希和夫(北九州市大), 市原真紀子(大阪市・環科研セ),
 大方正倫(滋賀県大), 伊藤朋子(岩手県・環研セ), 米山美幸, 中島大介(国環研)

- 09:45~10:00 LC-QTOF-MS の SWATH 測定データを用いた 10000 種の化学物質のサスペクトスクリーニング
°門上希和夫, 宮脇 崇 (北九州市大), 岩瀧勝己 (岩手県・環境生活部),
 戸渡寛法 (福岡市・環境局), 高木総吉 (大阪健康安全基盤研), 八木正博, 吉野共広 (神戸市・環境研),
 伊藤朋子 (岩手県・環境研セ), 竹峰秀祐 (埼玉県・環科国セ), 中島大介 (国環研)
- 10:00~10:15 FT-ICR MS を用いた PFAS のノンターゲットスクリーニング分析
°藤井 学 (東京工業大), Bei Zhang (浙江大), Jibao Liu, 磯部敏宏, Shanshan Qing,
 竹内 希 (東京工業大), Eunsang Kwon (東北大)
- 10:15~10:30 MRM データベースを利用した環境水中の PFAS スクリーニング法の開発
°安田恭子, 城代 航, 滝埜昌彦, 澤田浩和 (アジレント)
- 10:30~10:45 水環境試料中の *O*-desmethyl tramadol の半定量°中田典秀 (神奈川大・化学生命),
 大西祐樹, 石川直希 (神奈川大・工), 岩田桃子 (神奈川大・化学生命)
- ポスター発表 (ハイブリッド形式) / 口頭 10:45~11:17, ポスター前での自由討議 11:20~12:20**
 (座長: 宮脇 崇 (北九州市大))
- 10:45~10:49 PCDD/Fs 分析におけるポリ塩素化ジフェニルエーテルの妨害とその除去に関する検討 (2)
°姉崎克典 (北海道・道総研)
- 10:49~10:53 全自動固相抽出装置を用いた多環芳香族炭化水素の前処理と水素キャリアによる GC/MS 分析の検討
°坂井拓斗, 高原玲華, 石井一行, 高柳 学, 太田茂徳 (GL サイエンス)
- 10:53~10:57 AIQS-LC のデータベース拡充°大方正倫 (滋賀県大), 宮脇 崇, 門上希和夫 (北九州市大),
 市原真紀子 (大阪市・環科研セ), 伊藤朋子 (岩手県・環境研セ), 米山美幸, 中島大介 (国環研)
- 10:57~11:01 AIQS-LC プラットフォームにおけるリテンションインデックス予測の検討
°伊藤朋子, 宮手公輔, 今野博貴 (岩手県・環境研セ),
 後藤 匠, 門上希和夫, 宮脇 崇 (北九州市大), 市原真紀子 (大阪市・環科研セ),
 大方正倫 (滋賀県大), 米山美幸, 中島大介 (国環研)
- 11:01~11:05 水相パッシブサンプリング (PS) とターゲットスクリーニング分析 (AIQS-GC/LC) の組み合わせによる
 有機化学物質の網羅的な測定
°小野純子, 伊藤耕二, 原 晃大, 伴野有彩 (大阪府・環農水研), 高見 徹 (西日本工業大),
 川崎悦子, 久保明日香, 勝見良太, 長野緋音 (日吉), 矢吹芳教 (大阪府・環農水研)
- 11:05~11:09 PFAS 分析における環境試料を想定したクリーンアップ固相抽出カラムの基礎評価
°高原玲華, 陳 杏玲, 坂井拓斗, 石井一行, 高柳 学, 太田茂徳 (GL サイエンス)
- 11:09~11:13 東京都内水環境におけるスルファ系抗生物質の濃度実態と下水処理場内での挙動
°西野貴裕, 加藤みか, 飯田有香 (東京都・環科研)
- 11:13~11:17 計算化学による PCB のエナンチオ選択的毒性評価°中野 武 (大阪大/神戸大)
- 11:20~12:20 ポスター前での自由討議
- セッション総括 12:25~12:30**
 (座長: 松村千里 (兵庫県・環境研セ))
- 12:25~12:30 セッション総括

9月11日 (水) 午後

A会場 13:30~17:00

流域におけるマイクロプラスチックの動態 (流域物質動態とノンポイントソース研究委員会/マイクロプラスチック研究委員会)

(座長: 和田桂子 (京都大・防災研/近畿建協水環研))

- 13:30~13:35 開会挨拶°中島典之 (東京大)
- 13:35~14:00 市街地面源由来マイクロプラスチックの排出負荷量の推定
°中島典之, イ ソヨン (東京大・環安研セ), 山本可那子, 飛野智宏 (東京大院・工)
- 14:00~14:20 市街地から流出するマクロ・マイクロプラスチック負荷量の比率
°佐藤祐一, 横山大稀 (滋賀県・琵琶湖環科研セ), 二瓶泰雄 (東京理科大),
 武井直子, 赤坂和知, 小杉剛史, 松本真明, 喜多芳子, 川野三枝 (東レテクノ)
- 14:20~14:45 被覆肥料カプセルの水田からの流出動態: 福島県・宮城県の水田での調査結果を中心に
°原田茂樹 (福島大)
- 14:45~15:10 中空糸膜採取法及び L-Q 式を用いた多摩川から東京湾へのマイクロプラスチック年間輸送量の推定
°亀田 豊, 藤田恵美子 (千葉工業大), 小林幸男, 中山幹子 (三菱ケミカル・クリンスイ)
- (座長: 鈴木裕識 (岐阜大・工))
- 15:20~15:40 熱分解 GC/MS による大気中の粒径 0.43~11 μm のプラスチックの迅速な前処理法と分析条件の検討
°森岡たまき, 田中周平, 小濱暁子 (京都大院・地環), Ibukun Oluwoye (Curtin Univ.)

- 15:40~16:05 首都圏鉄道駅近傍および関東郊外における路面上プラスチック汚染評価と比較
.....°田中 衛, 柏田 仁, 二瓶泰雄 (東京理科大・創域理工)
- 16:05~16:30 道路交通系からのマイクロプラスチックと臭素系難燃剤の都市河川への負荷
.....°高田秀重, 小林 恵, Yeo Geok Bee, 水川薫子 (東京農工大・農)
- 16:30~16:55 海洋ナノプラスチックモデルの作製及びその捕集・回収法の確立.....°中谷久之, 山口瑛行,
浅野実日, 本九町卓, Anh Thi Ngoc DAO, 金 禧珍, 八木光晴 (長崎大院・総合生産),
経塚雄策 (長崎大・海洋)
- 16:55~17:00 閉会挨拶.....°高田秀重 (東京農工大・農)

9月11日(水) 午後

B会場 13:30~17:00

地域からの発信〜水環境研究の社会実装に向けて〜 (地域水環境行政研究委員会／共催：全国環境研協議会)

(座長：見島伊織 (埼玉県・環科国セ))

- 13:30~13:35 趣旨説明.....°西嶋 渉 (広島大)
- 13:35~14:15 招待講演 最近の水環境行政について2024.....°鈴木清彦 (環境省)
- 14:15~14:35 受賞講演 水質鉛直分布調査による東京湾内湾の底層溶存酸素量の中長期変動
.....°横山智子 (千葉県・環研セ)
- 14:35~14:55 岩手県三陸沿岸域における水質の現状と課題.....°高橋幸子 (岩手県・環保研セ)
- 14:55~15:15 東京湾におけるCODの上昇に関する調査研究.....°小林 咲 (川崎市・環総研)
- (座長：石井裕一 (東京都・環科研))
- 15:20~15:40 東日本大震災以降の大船渡湾底質中の多環芳香族炭化水素 (PAH) モニタリング調査
.....°牧 秀明 (国環研)
- 15:40~16:00 諏訪湖におけるヒシ除去の水質への物理的影響評価
.....°入江政安, 大江里奈 (大阪大), 宮原裕一, 豊田政史 (信州大)
- 16:00~16:20 マイクロプレートリーダーを用いた簡易大腸菌測定技術を用いた河川水の分析
.....°田中佑奈, M.N.M.Shayan (北海道大), 平野麗子 (セルスペクト),
中屋佑紀, 佐藤 久 (北海道大)
- 16:20~16:40 福島県を対象とした気候変動に伴う洪水による間接被害の影響推計...°TAN JIAZE (福島県・環創セ)
- 16:40~17:00 北海道の河川・湖沼・湿原の水環境保全に向けたエネルギー・環境・地質研究所の取組と課題
.....°木塚俊和, 三上英敏, 山口高志, 鈴木啓明, 大屋祐太, 野口 泉, 五十嵐聖貴,
小野 理 (北海道総研・エ環地研), 長谷川祥樹 (北海道総研・北総研), 亀山 哲 (国環研)

9月11日(水) 午後

C会場 13:30~17:00

紫外線を用いた水処理技術の最前線 (紫外線を利用した水処理技術研究委員会)

(座長：大瀧雅寛 (お茶の水女子大学基幹研究院))

- 13:30~13:40 趣旨説明.....°大瀧雅寛 (お茶女大)
- 13:40~14:00 紫外線-遊離塩素促進酸化処理による2-MIBとジェオスミンの分解に水温が及ぼす影響
.....°鶴野葉月, 小熊久美子 (東京大)
- 14:00~14:20 20種アミノ酸の紫外線吸収スペクトルおよび紫外線による光分解...°北村孝孝, 神子直之 (立命館大)
- 14:20~14:40 UVと過硫酸による尿素分解の基礎的検討.....°中村知克, 山越裕司 (日本フォトサイエンス)
- 14:40~15:00 紫外線による水中溶存安息香酸の分解.....°山越裕司, 森田和博 (日本フォトサイエンス)
- (座長：志賀淳一 (メタウォーター))
- 15:20~15:40 紫外線消毒における合成DNAの利用.....°望月利紗, 大瀧雅寛 (お茶女大)
- 15:40~16:00 紫外線殺菌における光回復抑制方法の検討.....°深津璃香, 大瀧雅寛 (お茶女大)
- 16:00~16:20 ウリジンを用いた化学線量計による紫外線照射装置の評価に関する基礎的検討
.....°高浪龍平 (大阪産業大)
- 16:20~16:40 浄水処理対応困難物質に対する紫外線促進酸化処理の有効性.....°酒井宏治, 若林航貴 (東京都立大)
- 16:40~16:55 紫外線の研究委員会のこれまでと今後.....°大瀧雅寛 (お茶女大)
- 16:55~17:00 講評.....°大垣眞一郎 (名誉会員)

9月11日(水) 午後

D会場 13:30~17:00

地球上での多彩な環境下で活躍する嫌気性微生物：その生態と応用 (嫌気性微生物処理研究委員会)

(座長：西村文武 (京都大))

- 13:30~13:35 趣旨説明.....°西村文武 (京都大)

- 13:35~14:25 海底に棲息する嫌気性微生物の研究を通じて見えてきたこと……………°井町寛之（海洋研究開発機構）
 （座長：幡本将史（長岡技科大））
- 14:35~14:50 電子伝達物資の保持を目的とした磁気分離型メタン発酵に関する基礎的検討
 ……………°上野和隆，吉田 弦，酒井保蔵，井原一高（神戸大）
- 14:50~15:05 水素資化メタン生成菌群のバイオメタネーションへの応用……………°古崎康哲，丁 含含（大阪工業大）
- 15:05~15:20 生ごみと紙ごみの混合メタン発酵における微生物群集構造に及ぼす温度と C/N 比の影響
 ……………°覃 宇，久保田健吾，李 玉友（東北大）
 （座長：日高 平（京都大））
- 15:25~15:40 嫌気性環境で死菌細胞の可溶化・分解を担う新規細菌の獲得
 ……………°平片悠河，森永花菜，玉木秀幸（産総研），延 優（海洋研究開発機構）
- 15:40~15:55 嫌気性汚泥のフェノールへの馴致過程における処理性能と微生物群集の変遷
 ……………°呉 江，小林拓朗（国環研）
- 15:55~16:10 Microbial Community Structure Dynamics and Influencing Factors in UASB Treatment of Methanolic Wastewater ……………°宋 柳莹，哈 俊彤，李 玉友（東北大）
 （座長：西村文武（京都大））
- 16:20~17:00 総合討議

9月11日（水）午後

E会場 13:30~17:00

環境にやさしい高分子材料を目指して：バイオアッセイ等による評価（バイオアッセイによる安全性評価研究委員会）

（座長：山本裕史（国環研））

- 13:30~13:35 趣旨説明……………°山本裕史（国環研）
- 13:35~14:10 高分子材料のバイオアッセイによる評価……………°鑑迫典久（愛媛大院・農）
- 14:10~14:40 人工構造タンパク質素材の実用化に向けた取り組み……………°村田真也（SPIA）
- 14:40~15:10 人工構造タンパク質素材の環境影響評価法検討について……………°舟山陽香（SPIA）
 （座長：新野竜大（三菱ケミカル））
- 15:20~15:50 分解途上の海洋生分解性プラスチックへの PAH の吸着と胆汁酸への脱離
 ……………°八十島誠，苗田千尋，藤田 遼，峯 孝樹（島津テクノ）
- 15:50~16:20 生分解性プラスチックの海洋生分解性評価法の開発……………°菊地貴子（CERI）
- 16:20~16:50 生分解性プラスチックの海洋と深海での微生物分解評価：ポリ乳酸の分子量と環境の影響
 ……………°昔 鎮浩，岩田忠久（東京大院・農）
- 16:50~17:00 総合討論・総括……………°新野竜大（三菱ケミカル）

9月11日（水）午後

F会場 13:30~17:00

環境エンジニアリングにおける電気化学的技術（電気化学的技術研究委員会）

（座長：窪田恵一（群馬大院））

- 13:30~13:35 挨拶……………°渡邊智秀（群馬大院・理工）
- 13:35~14:05 招待講演：機能水生成用電極の開発と課題…°島 朋助，松山 聡，松本 聡（石福金属興業・第1技）
- 14:05~14:23 3D プリンタでつくる DIY 微生物燃料電池～環境教育教材から研究用プロトタイプまで～
 ……………°廣岡佳弥子，市橋 修（岐阜大・環社共研セ）
- 14:23~14:41 Raspberry Pi Pico を用いた微生物燃料電池専用ポテンシオスタットの開発
 ……………°市橋 修（岐阜大・環社共研セ）
- 14:41~14:59 各種電解促進酸化法によるイブプロフェンの高効率無機化
 ……………°本間加奈乃（東邦大院・理），井関正博（東邦大・理）
- 14:59~15:17 イオン交換樹脂によるペルフルオロオクタン酸の吸着と硫酸ラジカルによるその再生
 ……………°片山雅仁（東邦大院・理），井関正博（東邦大・理）
 （座長：井関正博（東邦大））
- 15:30~15:48 微細藻類培養のための電気化学的アンモニア酸化によるメタン発酵消化液の改質
 ……………°中新井榛，吉田 弦，Mohamed Farghali（神戸大院・農），岩崎匡洋（神戸大院・農），井原一高（神戸大院・農）
- 15:48~16:06 X 線吸収微細構造解析（XAFS 法）による微生物燃料電池が鉄形態に及ぼす影響の評価
 ……………°窪田恵一（群馬大院・理工），見島伊織（埼玉県・環科国セ），渡邊智秀（群馬大院・理工）
- 16:06~16:24 Fe-N-C 系触媒を用いたエアカソードにおける触媒層作製条件の検討 …°大沼卓也（群馬大院・理工），新井雅登（群馬大・理工），石飛宏和（明治大・理工），窪田恵一，渡邊智秀（群馬大院・理工）

- 16：24～16：42 電気化学的手法による草津酸性河川の中和処理
 °小森正人，金井博哉（ヤマト・環技研），田中恒夫（前橋工大）
 （座長：榊原 豊（早稲田大院））
 16：42～17：00 総合討論

9月11日（水）午後

G会場 13：30～17：00（ポスター発表はH会場）

改めて感染リスクを考える（水中の健康関連微生物研究委員会）

（座長：原本英司（山梨大・流域セ））

- 13：30～13：35 趣旨説明..... °片山浩之（東京大院・工）
 13：35～13：50 Detection of protozoa in drinking water using real-time microbiological counter
 °藤岡貴浩，BOIVIN Sandrine（長崎大院・総）
 13：50～14：05 Crystal Digital PCR®を用いた下水中の複数呼吸器系ウイルスの同時検出法の開発
 °平井聡一郎（山梨大院・医工農），Bikash Malla，原本英司（山梨大・流域セ）
 14：05～14：20 低濃度空气中ウイルス高感度検出のための2次濃縮技術の開発... °澤田杏樹，佐野大輔（東北大院・工）
 14：20～14：30 ポスター発表 インTRODクシヨシ
 14：30～15：20 ポスター発表 コアタイム
 庄内地域に生息する食肉目動物における薬剤耐性菌の発生動向
 °米田一路（岩手大院・農），斎藤昌幸，渡部 徹，西山正晃（山形大・農）
 浦戸湾と周辺河川の大腸菌，薬剤耐性大腸菌の負荷源の推定
 °吉本龍晟（高知大院・農），Sorn Sovannlaksmy，井原 賢（高知大・農）
 琵琶湖流域からの大腸菌流出に及ぼす排出源の負荷量推定
 °韓 芷筠，林 東範，西村文武（京都大院・工），田中宏明（信州大・工）
 ファージによる薬剤耐性菌制御における最適多重感染度の検討及び効果的なファージの探索
 °北向瑛世，天間琴心，李 善太（八戸高専）
 ナノプレート型デジタルPCRを用いた下水中における薬剤耐性遺伝子の存在実態調査
 °坂牧祐佳（山梨大・工），Bikash Malla，原本英司（山梨大・流域セ）
 （座長：井原 賢（高知大・農））
 15：30～15：55 飲用水質基準に関する世界の動向..... °片山浩之（東京大院・工）
 15：55～16：20 QMRA がもつ本質的な特徴と抱えている課題 °伊藤禎彦，安井 碧（京都大院・工）
 16：20～16：45 水環境における薬剤耐性ホットスポットとは何か？..... °Amarasiri Mohan（東北大院・工），
 古川隼士，清 和成（北里大・医衛），佐野大輔（東北大院・工）
 16：45～17：00 総合討論..... °片山浩之（東京大院・工）

9月12日（木）午後

A会場 13：30～17：00

産業排水の処理・回収における脱炭素に向けた技術動向（産業排水の処理・回収技術研究委員会）

（座長：鈴木重浩（メタウォーター））

- 13：30～13：35 趣旨説明..... °鈴木重浩（メタウォーター）
 13：35～14：20 招待講演：人新世社会で求められる環境技術..... °福士謙介（東京大・未来ビジョン研セ）
 14：20～15：05 招待講演：アサヒグループのサステナビリティと経営の統合および水の取組みについて
 °浅野寛之（アサヒグループホールディングス）
 （座長：宮田 純（JFEエンジニアリング））
 15：15～15：30 単槽型硝化脱窒プロセスにおけるN₂O排出特性 ... °草野 吏（メタウォーター），松井 穰（町田市），
 糸川浩紀（日本下水道事業団），堀野太郎，中村高士，鈴木重浩（メタウォーター）
 15：30～15：45 燃料電池を用いた排水発電および脱硫技術開発の取り組み
 °田村青葉，清川達則，橋本庸平（住友重機械工業）
 15：45～16：00 流動床担体生物処理装置におけるモデル参照型曝気制御システムの実装
 °山本愛美，大月孝之（栗田工業）
 （座長：岸澤夏樹（日立プラントサービス））
 16：00～16：15 画像センサ型脱水剤自動注入制御システムの開発
 °菊地 凱，福水圭一郎，中野 徹，恵良 彰（オルガノ）
 16：15～16：30 フロックの物性情報取得に向けたシュリーレン画像の色相解析技術..... °加納宏弥，高梨健太，
 大野博司（東芝），海老原聡美，福田美意，横山 雄（東芝インフラシステムズ）

- 16：30～16：45 シュリーレン画像の色相解析値とフロック密度の関係
 ……………°海老原聡美，福田美意（東芝インフラシステムズ），加納宏弥，高梨健太，大野博司（東芝），
 横山 雄（東芝インフラシステムズ）
- 16：45～17：00 バーチャル汚泥脱水試験アプリの開発と活用
 ……………°隋 鵬哲，高橋惇太，KITJANUKIT SANTISAK，新庄恭子，島村和彰（水ing）

9月12日（木）午後

B会場 13：30～17：00

東北地方における水・バイオマス利用の技術とシステム（農産業に関わる水・バイオマス循環技術研究委員会）

（座長：赤尾聡史（同志社大））

- 13：30～13：35 趣旨説明……………°永禮英明（岡山大）
- 13：35～14：25 農学からみた資源循環－酪農バイオマスからの耕畜食連携－……………°井原一高（神戸大）
- 14：25～15：15 農産業に関わるメタン発酵技術の研究展開……………°日高 平（京都大）
- （座長：和木美代子（農研機構））
- 15：25～16：10 小岩井・雫石町バイオマス発電事業への取り組み
 ……………°児玉 真，°小笠原英紀（バイオマスパワーしずくいし）
- 16：10～16：55 機能性を追求した混合堆肥複合肥料の製造と利用方法の検討……………°荒木利幸（宮城県・畜産試験場）

9月12日（木）午後

C会場 13：30～17：00

環境再生保全のための高度処理浄化に資する新たな研究開発・解析評価の動向（生物膜法研究委員会）

（座長：稲森悠平（バイオ技研））

- 13：30～13：55 生物処理における高度化のための処理機能の診断における研究・技術開発の現状と方向性
 ……………°稲森隆平，°稲森悠平（バイオ技研），打林真梨絵，鮫島正一（明電舎），
 西村 修，李 玉友（東北大）
- 13：55～14：25 下水からのエネルギー回収および地球温暖化対策を踏まえた研究・技術開発の現状と方向性
 ……………°李 玉友（東北大）
- 14：25～14：55 湖沼の面源負荷対策としての休耕田ビオトープの多目的利活用の現状と方向性……………°中野和典（日本大）
- 14：55～15：25 水循環健全化のためのセラミックス膜分離技法高度処理研究・技術開発の現状と方向性
 ……………°打林真梨絵（明電舎），西村 修，李 玉友（東北大），稲森悠平，稲森隆平（バイオ技研）
- 15：25～15：50 分散型と下水道を組み合わせたSDGsを踏まえた新たな排水処理システムの現状と方向性
 ……………°田畑洋輔，柘植将之（フジクリーン工業）
- 15：50～16：20 水利用障害藻類などの環境リスク評価のための遺伝子解析の研究・技術開発の現状と方向性
 ……………°清水和哉（東洋大）
- 16：20～16：50 環境再生保全に資する耐性菌出現機構に基づく持続的公衆衛生インフラ整備のための研究・技術開発の
 現状と方向性……………°間世田英明（産総研）
- 16：50～17：00 総括・展望……………°稲森悠平（バイオ技研）

9月12日（木）午後

D会場 13：30～17：00

亜熱帯島しょ域における環境汚染物質の実態・課題及び対応（熱帯・亜熱帯地域水環境研究委員会）

（座長：宮城俊彦（（元）沖縄県・衛環））

- 13：30～13：35 趣旨説明
- 13：35～14：05 沖縄由来塩素化エチレン分解菌叢の探索と沖縄産果汁栄養剤の効果
 ……………°本村 圭，奥津徳也（栗田工業），中村真也，中野拓治（琉球大）
- 14：05～14：35 タイヤ摩耗片による鳥類汚染：ヤンバルクイナにおける稀有な事例と暴露経路の解明
 ……………°山原慎之助（熊本大院），小林 峻（琉球大），椎野風香，石川伊智子（環境省・やんばる），
 宮城俊彦（（元）沖縄県・衛環研），中田晴彦（熊本大院）
- 14：35～15：05 沖縄島の地下水中マイクロプラスチックの分布挙動……………°中田晴彦，中田純平（熊本大院）
- （座長：中田晴彦（熊本大院））
- 15：15～15：45 海域土砂流出における農地由来率の推定方法……………°佐塚直孝，中西康博（東京農大院）
- 15：45～16：15 パインアップル栽培における施肥窒素効率の検証……………°中西康博，檜谷 昂（東京農大院）
- 16：15～16：45 鹿児島県与論島におけるサンゴ礁海域を取り巻く水環境改善を目指した地域密着型の取り組み
 ……………°池田香菜（海の再生ネットよろん）
- 16：45～17：00 全体討議

9月12日(木) 午後

E会場 13:30~17:00

プラスチック問題の身近に潜む危険, 対策の啓発(身近な生活環境研究委員会)

(座長: 原口公子(遠賀川流域住民の会))

- 13:30~13:35 趣旨説明.....° 柿本貴志(埼玉県・環科国セ)
13:35~14:05 プラスチックの現状と課題.....° 小寺正明(環境・国際研究会)
14:05~14:25 プラスチック環境調査事例から(遠賀川).....° 原口公子(遠賀川流域住民の会)
14:25~14:45 プラスチック分析の視点から(人工芝, 飲料缶, 紙パックを例に).....° 向高 新(立正大・地球環境)
14:45~15:15 北上川流域での多主体連携・協働過程に見る水環境保全成功の要因と課題
.....° 塚本善弘(岩手大・人文社会科学)

(座長: 大島 詔(大阪市・環科研セ))

15:30~17:00 総合討論

9月12日(木) 午後

F会場 13:30~17:00

湿地・沿岸域研究の最前線と三陸沿岸域のいま(湿地・沿岸域研究委員会)

(座長: 藤林 恵(九州大院・環))

- 13:30~14:00 特別講演 宮城県三陸沿岸の藻場と東日本大震災
.....° 玉置 仁(石巻専修大・理工), 村岡大祐(水産機構技術研)
14:00~14:12 志津川湾のカキ養殖における温湯処理の成育改善と環境負荷低減の効果
.....° 坂巻隆史, 畠山勇二(東北大院・工), 丸尾知佳子(東北大・技術部), 藤林 恵(九州大院・環)
14:12~14:24 DEB モデルを用いたカキ養殖における付着イガイ除去効果の評価
.....° 齋藤 輝, 畠山勇二(東北大院・工), 藤林 恵(九州大院・環境社会), 坂巻隆史(東北大院・工)
14:24~14:36 マガキの殻と軟体部による海域環境モニタリングの可能性
.....° 秋元健史, 大澤理人, 齋藤 輝, 坂巻隆史(東北大院・工)

(座長: 長濱祐美(茨城県・霞ヶ浦環科セ))

- 14:36~14:48 沿岸域のCOD が下がらない問題と有機物分解の関係性について
.....° 鈴木元治(兵庫県・環研セ), 鹿島千尋, 中谷祐介(大阪大), 藤原建紀(京都大学名誉教授)
14:48~15:00 播磨灘における栄養塩類管理施策のための生態系パラメータ解析
.....° 古賀佑太郎(兵庫県・環研セ), 嶋寺 光(大阪大), 佐藤祐一(滋賀県・琵琶湖環科研セ)
15:00~15:12 熱帯泥炭地沿岸における再堆積した熱帯泥炭から溶出した溶存有機物と泥炭粒子の浮遊性
.....° 松尾はな, 山本浩一, 今井 剛, 中村慎吾(山口大)
15:12~15:24 褐藻アカモクの陸上培養における下水汚泥コンポストの活用.....° 佐藤岳哉(山形大院・農),
古山 遥(山形県・水産研), 本間伸栄(山形県・加茂水産高), 渡部 徹(山形大・農)
15:24~15:36 モデルエコシステムを用いたプランクトン多様性に及ぼすカルシア改質土の影響評価
.....° 佐藤颯介(千葉工業大院), 奥 遼太, 村上和仁(千葉工業大)
15:36~15:48 マイクロコズム WET 試験を活用した侵略的外来水生植物によるアレロパシー作用の季節的影響評価
.....° 石井隆太郎(千葉工業大院), 村上和仁(千葉工業大), 稲森隆平, 稲森悠平(バイオ技研)

(座長: 坂巻隆史(東北大院・工))

- 15:48~16:00 霞ヶ浦における底層 DO の低下可能性に関する検討
.....° 長濱祐美, 福田 聡(茨城県・霞ヶ浦環科セ), 福島武彦(筑波大)
16:00~16:12 サロベツ湿原, ウトナイ湖における極微小マイクロプラスチック汚染の現況
.....° 田中周平(京都大院・地環), 山本浩一(山口大院・創成), 藤林 恵(九州大院・環境社会)
16:12~16:24 中海・宍道湖に流入する様々なクラスの河川の水質クラスタリング評価
.....° 金 相曄(島根大), 安藤卓人(秋田大), 仲村康秀, 林 昌平, 川井田俊(島根大)
16:24~16:36 藻類産生毒素「ミクロシスチン」直接迅速分析手法の検討
.....° 丸尾知佳子, 田中翔也, 佐野大輔, 西村 修(東北大院・工)
16:36~16:48 直接打設型 3次元地下水流向流速計の開発
.....° 山本浩一, Ornai Belo Joanhina(山口大), 青木優賢(柳井市)
16:48~17:00 台地の裾にある湿地帯の水質浄化に及ぼす地下水の影響.....° 瀧 和夫(水環境研究所)

9月12日(木) 午後

G会場 13:30~17:00(ポスター発表はH会場)

SDGs 時代における企業の環境バイオ研究開発(微生物生態と水環境工学研究委員会)

(座長: 伊藤 司(群馬大))

- 13:30~13:35 趣旨説明.....° 伊藤 司(群馬大)

- 13:35~13:58 脱炭素に貢献する排水処理技術の開発.....° 山本哲史 (大成建設)
 13:58~14:21 無曝気循環式水処理技術の開発.....° 米津直紀 (メタウォーター)
 14:21~14:44 回転繊維ユニット RBC-OD 法的能力増強性能と微生物相評価 ...° 柿沼建至 (東芝インフラシステムズ)
 (座長:堀 知行 (産総研))
 14:45~15:08 産業廃水からのアンモニア回収技術と今後の展望.....° 舩内研吾 (キリンホールディングス)
 15:08~15:31 掘削中微生物によるセレン浄化技術の開発.....° 片田直人 (太平洋セメント)
 15:31~15:54 バイオレメディエーションの高度化による塩素化エチレン類の効率的浄化と土壌対策時 CO₂ 削減
° 山崎祐二 (竹中工務店)

ポスター発表 (16:00~17:00)

(座長:伊藤 司 (群馬大), 堀 知行 (産総研))

- 薬剤耐性プラスミドと耐性菌種を結びつける培養非依存的な薬剤耐性菌検出法の開発と適用
° 井口晃徳 (新潟薬科大)
 炭素や窒素除去に関連する新規な微生物 *Vulcanimicrobiota* のゲノム解析
° 一色理乃, 黒田恭平, 成廣 隆 (産総研)
 嫌気性アンモニウム酸化反応における各窒素変換経路の可逆性
° 河崎聖也, 押木 守, 岡部 聡 (北海道大)
 微生物間相互作用の活性化による PET 原料製造廃水処理の高度化° 黒田恭平, 成廣 隆 (産総研)
 マルチオミクス解析と培養法を組み合わせた p-トルイル酸分解微生物の推定
° 高井麻帆 (北海道大), 佐藤 久 (北海道大), 成廣 隆, 黒田恭平 (産総研)
 昇圧回路搭載型微生物燃料電池による導電性膜のファウリング抑制効果向上と余剰電力回収
° 田村知暁, 岡部 聡 (北海道大)
 種間電子伝達を促進する微生物保持担体がメタン発酵に与える影響
° 根津拓福, 渡利高大, 山口隆司, 幡本将史 (長岡技科大)
 継続的な相互作用変化による競合微生物の動的共存状態.....° 本莊雅宏 (産総研/静岡大院),
 鈴木研志 (東京大院), 齋藤保久 (島根大), 二又裕之 (静岡大院)
 嫌気性廃水処理プロセスから発生する N₂O の除去に寄与する微生物群の解析
° 前田稜太, 佐藤幹子, 久保田健吾 (東北大)
 Population Dynamics in Weed and Thermophilic Contact Oxidation (WAT) Method
° 森 忠洋 (湖沼復活研)
 消化汚泥を初期汚泥とした DHS リアクターによるバイオメタネーション
° 山田光陽, 渡利高大, 山口隆司, 幡本将史 (長岡技科大)
 Virtual screening and molecular dynamics simulation of quorum sensing inhibitors targeting *N*-acyl
 homoserine lactone receptor proteins in activated sludge bacterial community
° Duyen Phuc-Hanh Tran, Sheng-Jie You (Chung Yuan Christ. Univ.),
 Fumiyuki Nakajima, Tomohiro Tobino (The Univ. of Tokyo)
 Applying a microaerobic activated sludge system for conversion of nitrogen compounds in industrial
 wastewater to ammonium.....° Tomo Aoyagi (AIST), Akihiko Terada (Tokyo Univ. Agr. Tech.),
 Tomoyuki Hori (AIST)

若手研究紹介（オルガノ）セッション

9月11日（水）午前

A会場 9：00～12：00

（司会：越後信哉（京都大））

- 09：00～09：05 選考委員長開会挨拶…………… 伊藤 歩（岩手大）
- 09：10～09：35 新規行動影響評価手法 Peek-A-Boo テストの開発：汎用的かつ高感度なメダカの行動影響評価手法の開発を目指して…………… 高井優生（九州大）
- 09：35～10：00 耐光性微細藻類－硝化菌共存系を用いた省エネルギー型窒素含有廃水処理法の開発… 西 健斗（創価大）
- 10：00～10：25 Determination of Environmental and Social Factors on Infectious Disease Transmission
…………… Sewwandi Bandara（東北大）
- （司会：井上大介（大阪大））
- 10：40～11：05 Abatement of Epinastine by UV/Chlorine and Formation of DBPs during Post-chlorination:
Concentration-dependent Effects of Chlorine and Bromide …………… 村田雄一郎（東京都立大）
- 11：05～11：30 マイクロからナノサイズへのプラスチック環境動態を調べるための計測・同定・定量手法の開発
…………… 森岡たまき（京都大）
- 11：30～11：55 湖沼における重要な環境因子を採用した大腸菌生存モデルの開発…………… 米田一路（岩手大）

メタウォーター賞受賞者講演

9月11日（水）午後

A会場 17：10～17：50

- 17：10～17：50 東京都区部における下水道の一般水質と集水域特性の対応関係
……………宮脇大和，°波多野雄大，吉村千洋（東京工業大）